

全国初の取り組み！

オンラインでつなぐ 心と健康の見守りネットワーク



遠隔みまもり看護株式会社

代表取締役 青木 比登美

遠隔みまもり看護株式会社

24hour, 365days.

24時間365日体制でみまもりいたします



“切れ目のない”人生サポートを。

誰も一人にさせない！

全国初、災害直後から稼働する遠隔看護システム～横須賀市防災協定締結～



行政から率先して「構造改革」を進め、目指すは横須賀の「復活」

「経済と福祉の再生」によって実現する「誰も一人にさせないまち」の理念

神奈川県 | 神奈川県(県庁) | 神奈川県横須賀市 | 50万人以上 | 20万人～50万人 | 自治体通信 Vol.39



VISION

全ての自宅に“看護の眼”が
行き届く社会を実現する

MISSION

決して一人にさせない

関東の震災リスク と現状の課題

近い将来 大規模な自然災害が発生する
可能性が指摘されています。

関東地域において今後30年以内に
M7クラスの大地震が発生する確率は
70%以上と推定

大規模災害時に
直面する
課題

被災による機能停止



遠隔看護による革新的 解決策

遠隔みまもり看護 システムの強み

- 実績ある専門性
- 災害に強いインフラ
- 分散型人材活用
- 潜在看護師の活用
- 拡張性の高いユニット型体制

実績ある専門性

2022年1月から2023年9月まで、
鹿児島県からの委託で
離島を含む新型コロナウイルス感染
症宿泊療養施設入所者
延べ14,223名への遠隔看護業務を
行った唯一の実績



実績	
新型コロナウイルス 陽性療養者に対する遠隔サポート	
1	2
宿泊療養施設への 健康観察	自宅療養中の方への 健康観察
2022年1月～2023年9月	2022年3月～2023年9月
【療養者数】 2,172名 <延べ14,223人対応> (離島含む)	【療養者数】 223名

災害に強いインフラ 分散型人材活用 潜在看護師の活用

クラウド上にオンライン看護ステーションを構築しているため、被災地の物理的被害に影響されません。

24hour, 365days.

24時間365日体制でみまもりいたします



災害に強いインフラ 分散型人材活用 潜在看護師の活用

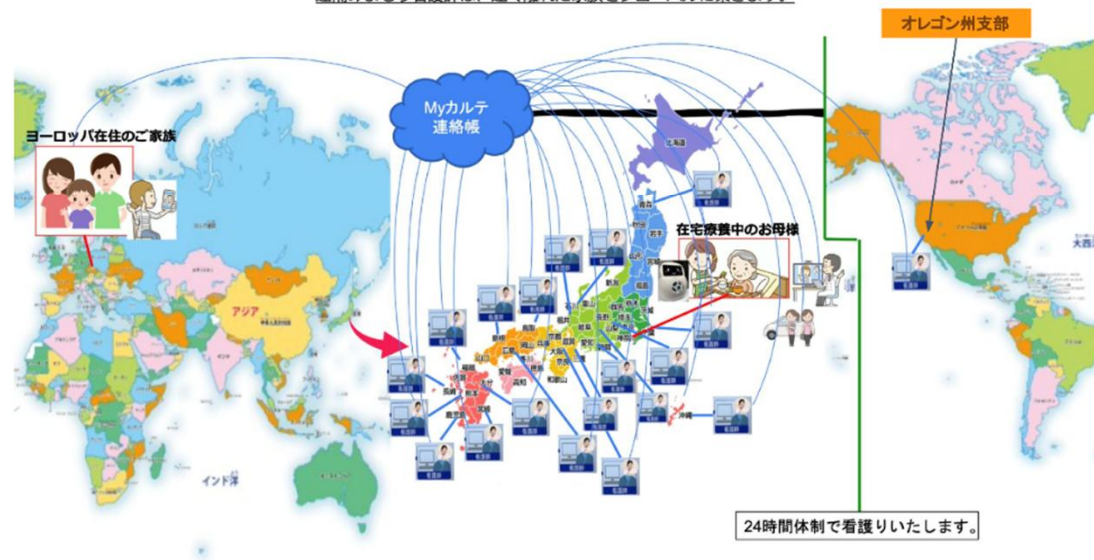
クラウド上にオンライン看護ステーションを構築全国約71万人の潜在看護師が 有事の際にサポートに入れる体制を構築

24hour, 365days.

24時間365日体制でみまもりいたします

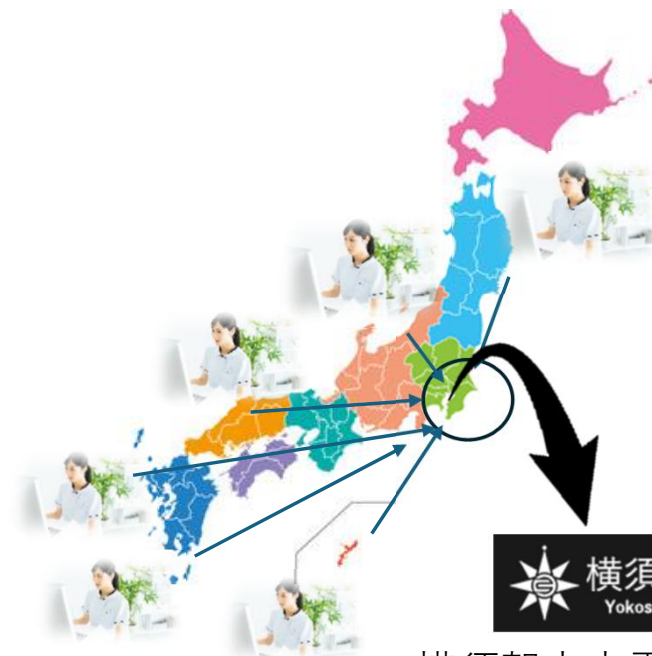


遠隔みまもり看護師は、遠く離れた家族をグローバルに繋ぎます。



医療人材が不足している地域医療現場を、
ICT/IoT を活用して24 時間遠隔サポートします。

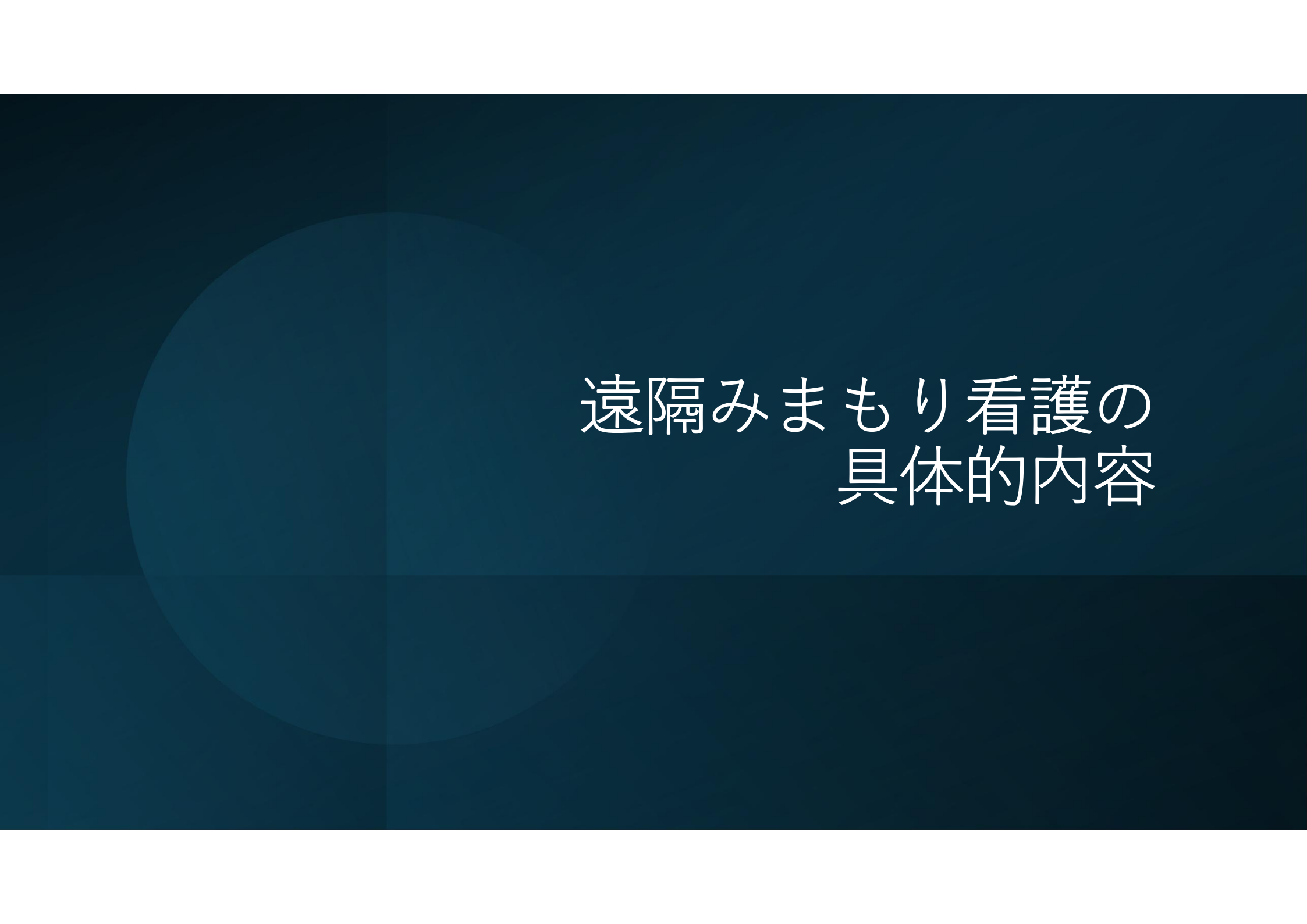
拡張性の高い ユニット型体制



横須賀市内震災時避難所

遠隔みまもり看護Aチーム ↔ 避難所A
遠隔みまもり看護Bチーム ↔ 避難所B

- 1つの避難所に、遠隔みまもり看護専任チームを構築することで、避難所の増減に柔軟に対応できる
- 研修やトレーニング等が行いやすい
- 現場スタッフとの合同演習で、事前にコミュニケーションをとる事ができる。



遠隔みまもり看護の 具体的内容

体制図

災害遠隔看護対策本部

横須賀市役所/横須賀市保健所



ドライブ
横須賀市
専用アカウント付与



- ・各避難所の状況把握
- ・各看護師チーム管理
- ・webカルテ
アカウント作成状況確認



コールセンターTeam

遠隔みまもり
看護師チーム



避難所A
チーム



避難所B
チーム



避難所C
チーム



避難所D
チーム



避難所E
チーム

避難所



避難所A



避難所B



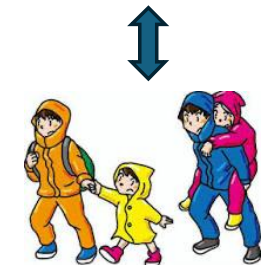
避難所C



避難所D



避難所E



避難中の方からの
問い合わせ受付

- ・トリアージ
- ・避難所誘導

迅速な情報共有と コミュニケーション

災害発生から保健師の巡回が始まる
(計画では発災3日後以降) までの間

- 1) 被災地の状況や住民の状態を
速やかに把握
- 2) 災害対策本部や保健所と情報を
共有する
- 3) 被災者の、
「誰に」、「どこに連絡すればいいの
か」と言った
初期間合せ窓口となり、被災者の
不安に寄り添い関係各所に情報を
つなぐ

適切なトリアージ支援

- 1) 遠隔で初期トリアージをサポート
- 2) 災害対策本部や保健所と情報を共有する

これにより、現場の資源を効率的に分配できます。

専門的なアドバイスと サポート 心理的サポートの提供

- 1) 現場スタッフや被災者に対して、専門的な医療知識や対処法に関するアドバイスを提供

**助産師・保健師・看護師が
妊婦・乳幼児～高齢者まで
全世代をサポート**

- 2) 被災者や、現場スタッフに対する心理的なサポートを行い精神的な健康支援を提供
- 3) 災害対策本部や保健所と情報を共有する

これにより、保健所の保健師チームの巡回訪問計画等の作成に役立てて頂く

継続的なモニタリング と長期的な健康支援

- 1) 避難所で暮らす被災者の健康状態を遠隔から健康観察
- 2) 遠隔で二次トリアージをサポート
- 3) 災害対策本部や保健所と情報を共有する

これにより、保健所の保健師チームの健康管理支援計画等の作成に役立てて頂く

「避難所（被災者）にもっと安心を！」

本取り組みにより、
災害時の課題を根本から変革し、
より強靱な地域防災体制の構築に
貢献してまいります。